

図書館の

長岡市立中央図書館報 No.158

2017★秋号

窓から

～「読みたい・識りたい」
そういう図書館がある～

平成 30 年に長岡市立図書館は開館 100 周年を迎えます。そこで今回は長岡の図書館の始まりとなる互尊文庫と寄贈者の互尊翁こと野本恭八郎を紹介します。



大正記念長岡市立互尊文庫

互尊文庫の創設

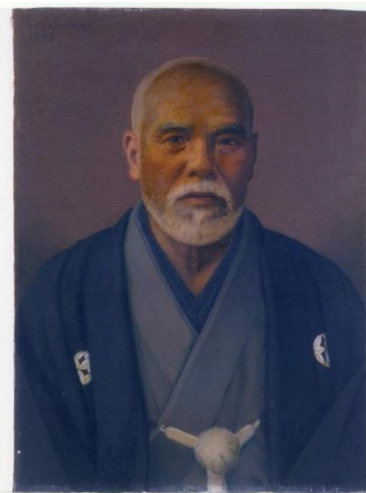
大正 4 年（1915）10 月、野本恭八郎（互尊翁）は大正天皇の即位を祝う記念事業として、「大正記念互尊文庫」の寄付と経営に関する願を長岡市に提出しました。当時長岡には整備された図書館がなく、互尊翁は互尊独尊の深い考えを広め、人間を向上させる修養の場所として図書館が一番ふさわしいという考えのもと、互尊文庫を寄付することにしました。長岡市はこの申し

出を承認し、建設場所は東坂之上 1 丁目の土地（現在の長岡グランドホテル付近）を選びました。戊辰戦争後の長岡を復興させた三島億二郎の邸宅跡地で市内中心部にあり、互尊翁の要望にかなった快適な環境の場所だったからです。そして大正 7 年（1918）6 月 8 日「大正記念長岡市立互尊文庫」が開館します。この日は大勢の来賓を迎え、盛大な開館式が行われました。互尊翁の偉業に感銘をうけた高頭仁兵衛から約 1 万 8 千冊の寄贈を受け、開館当時すでに互尊文庫の蔵書は約 3 万冊に上り、新潟県立図書館に次ぐ規模で出発しました。

野本恭八郎(互尊翁)

嘉永 5 年（1852）10 月刈羽郡横沢村（長岡市小国町横沢）の豪農山口家に生まれました。大野本とも称された商家の野本家の養子となり、長岡商業会議所設立など社会的にも大きく貢献しました。

「自分は図書館を寄付したのではない、互尊文庫を寄付したのである。」という言葉に互尊文庫に対する強い思いが込められています。



野本恭八郎（互尊翁）



平成 30 年は図書館開館 100 周年
あなたのそばにいつも図書館

100 周年記念ロゴマーク決定！

投票にご協力いただきありがとうございました。左記のロゴマークを図書館開館 100 周年記念ロゴマークとして決定しました。今後イベントのポスター・チラシなどで使用します。

堀口大學コレクション

当コレクションは堀口大學の著訳書をはじめ、全集や単行本には未収録の掲載誌、未発表作品の原稿などを幅広く収集した資料群です。その多くは、堀口大學関係資料のコレクターとして知られる高知市在住の千頭将宏氏ちかみまさひろから購入したもので、これを基に収集を続け現在では約 6,750 点にまで及びます。

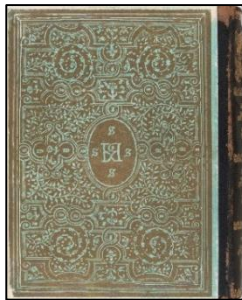
11月に当館で開催する「詩人 堀口大學と長岡展」に先がけて、コレクションの一部を紹介します。

*『長岡市立中央図書館所蔵堀口大學コレクション目録』は郷土コーナーにあります。

*コレクションは閲覧できます（事前に指定の申請書提出が必要）。

『月光とピエロ』堀口 大學／著 靱山書店（朧/HoA/0896）

堀口大學の第一詩集である『月光とピエロ』は大正8年に靱山書店もみやまから刊行されました。当時20代だった大學は病弱であったが故に、一行でも多くの詩を書き残そうとあせっていた、とのちに記しています。若き詩人の心に去来する思いが胸を打つ作品です。

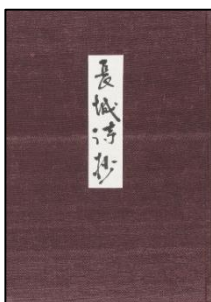


『月下の一群』ポオル・ヴァレリイ／著 他65名 堀口 大學／訳 第一書房（朧/HoA/0927）

堀口大學の代表作、フランス詩の訳詩集です。大正時代の訳とは思えないほど日本語の節回しが心地良く、言葉のセンスに魅了されます。340編からなる詩の中からは、「ミラボオ橋の下をセエヌ河が流れ」で始まるロマンチックな詩、「ミラボオ橋」をおすすめします。

『日本の鶯 堀口大學聞書き』関 容子／著 角川書店（朧/HoA/1008）

80代後半を迎えた大學への忌憚なきインタビュー集きたん。聞書きの名手によって引き出された、詩歌作品やゆかりの人物などのエピソードは読み応え抜群で、何よりも人間味と知性にあふれた大學の雰囲気をじかに感じる事ができる貴重な本です。



『長城詩抄 父の漢詩・子の和訓』堀口 九萬一／著 堀口 大學／訳 大門出版（朧/HoA/0889）

父、九萬一くまいちの漢詩に大學が和訓読みと解説を加えた親子合作の漢詩集です。明治時代に外交官として活躍した九萬一は、赴任先の各国での出来事を題材とした国際色豊かな漢詩を多く残しています。日記等をもとにして大學がまとめた略年譜もあり、九萬一の生涯をたどることができます。

* このページで紹介した本の関連図書を、中央図書館一般コーナー入口付近に展示しています。ぜひご利用ください！

「震災復興と図書館のアーカイブ機能」をテーマにシンポジウム開催！

中越大震災 13 年にあわせて、「長岡市災害復興文庫展 2017」を開催します（詳細は次頁参照）。会期中の 10 月 28 日（土）に開催する記念シンポジウムは、阪神・淡路大震災後に神戸大学附属図書館「震災文庫」を立ち上げた稲葉洋子氏を基調講演の講師にお招きします。神戸で培われたノウハウは、中越、東日本を経て熊本地震の被災地図書館にも引き継がれています。くまもと森都心プラザ図書館長の河瀬裕子氏からは、現在進行形の震災資料収集の取り組みを報告していただきます。

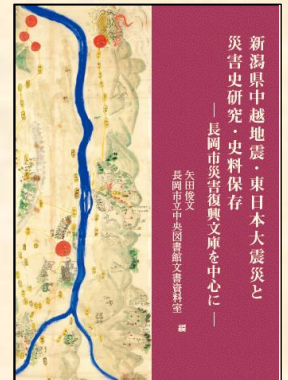
図書館法によれば、図書館は「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」です。災害と復興の記録は、市民の共有財産となる

経験・教訓に満ちています。学校・地域の防災・減災に向けた取り組み、災害史研究の素材などへの活用も始まっています。

長岡市立図書館開館 100 周年のイベントとして開催するこのシンポジウムでは、自然災害の記憶と記録を未来へ伝えていくために、現代の図書館が果たすべき役割を考えます。

（田中 洋史）

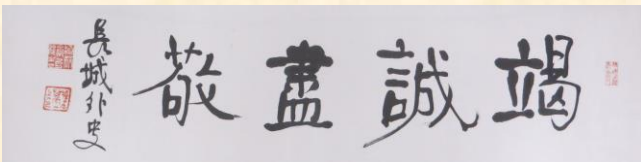
- ▶ 災害復興文庫を紹介する図録
（B5 判、83 ページ）



『新潟県中越地震・東日本大震災と災害史研究・史料保存―長岡市災害復興文庫を中心に―』

文書資料室・中央図書館にて頒布中（500 円）

中央図書館所蔵資料紹介 No.154 堀口九萬一 書



堀口九萬一（1865～1945）（号・長城外史）は、慶応元年、長岡藩足軽の父・良次右衛門と母・千代の間に生まれます。そのわずか 3 年後、北越戊辰戦争の際、父は鉄砲に撃たれ若くして命を落としました。

母の苦勞をみて育った九萬一は、熱心に学問に励み、明治 26 年、東京帝大法科大学法律学科を卒業します。そして翌年の第 1 回外交官試験に見事合格。以来、激動の世界情勢の下、朝鮮・オランダ・ベルギー・メキシコなど各国へ赴任し、積極的に任務を果たして行きました。

後年の九萬一は、全国各地を飛びまわり、精力的に講演会を行います。

ここに掲げた書は、「^{けつせいじんけい}竭誠尽敬」。
中国・晋の詩人、^{そくせき}束皙の漢詩「^{はつか}白華」のなかにこれと同じ言葉がみえます。

「^{しゅがく}白華と^{こう}朱萼と幽薄に被むる（中略）^{つく}誠を竭し敬を^{びび}尽くし、^{つかれ}疊疊として^{くま}劬を忘る／白華と^{くま}玄足と丘の曲に在り（後略）」

この詩は、「^{がく}朱色の萼や黒い萼を持つ白い花は、たとえ片隅にあっても目を引くように、真心を尽くして親を敬い、苦勞を忘れて努める姿は、鮮やかで美しく、何者も汚すことはできない」と親孝行の素晴らしさを歌ったものです。

母への感謝の気持ちとともに、早くに亡くなった父への思いもこめて、九萬一は筆を染めたのでしょうか。

* ^{びび}疊疊：一心に努めるさま

* ^{つかれ}劬：苦勞

（小熊 よしみ）

10月～12月 イベント

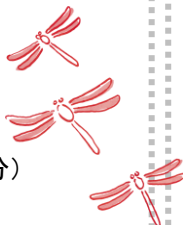
平成30年は図書館開館100周年
あなたのそばにいつも図書館



映画会

★入場無料・申込不要 講堂 14:00～(開場13:30～)
11/7、12/24は10:00～

- 10/6 (金) 「NO」2012年/チリ・アメリカ・メキシコ (118分)
- 10/21 (土) 「マダム・イン・ニューヨーク」2012年/インド (134分)
- 11/7 (火) ～読書週間名作映画会～
「蟹工船」1953年/日本 (109分) 10:00～
「若草物語」1949年/アメリカ (122分)
- 11/19 (日) 「シーヴァス」2014年/トルコ・ドイツ (97分)
- 12/13 (水) 「紅白が生まれた日」2015年/日本 (72分)
- 12/24 (日) ～クリスマス映画会～
「くるみ割り人形」2014年/日本 (80分) 10:00～
「クリスマス・キャロル」1938年/アメリカ (69分)



開館100周年イベント

I) 長岡市災害復興文庫展 2017

【記念シンポジウム】あつめる・整理する・つたえる～震災復興と図書館のアーカイブ機能～

- ◆日時: 10/28(土) 14:00～16:30
- ◆内容: **基調講演** 神戸大学「震災文庫」公開から22年～震災の記録を未来へつなぐ～
講師 稲葉 洋子氏 (帝塚山大学非常勤講師・元神戸大学附属図書館情報管理課長)
事例報告 震災資料収集から地域を考える～熊本地震の経験から～ **講師** 河瀬 裕子氏 (くまもと森都心プラザ図書館長)
- ◆会場: 2階 講堂 ◆定員: 150人 (先着)
- ◆申込: 電話・FAX・メールにて文書資料室 (TEL0258-36-7832 / FAX0258-37-3754)へ

【企画展】震災避難所の記録と記憶

- ◆会期: 10/18(水)～11/5(日)
休館日: 10/23(月)・10/30(月)・10/31(火)
- ◆内容: 中越大震災と東日本大震災の避難所運営の記録、熊本地震の被害状況と被災地図書館の活動紹介などを展示します。

◆会場: 1階 エントランス

II) 詩人 堀口大輔と長岡展

- ◆日時: 11/28(火)～12/10(日)
10:00～18:00 ※11/28(火)は、14:00～オープニングセレモニー、のち開場。
休館日: 11/30(木)・12/4(月)
- ◆内容: 国内屈指の堀口大輔コレクションを中心に展示し、大輔のふるさと長岡への想いや地域との関わりをご紹介します。

◆会場: 2階 美術センター

連携企画 新潟県立近代美術館「堀口大輔展」
H29.12/2(土)～H30.1/8(月・祝)

III) としよかんクリスマス

スペシャルコンサート♪

- ◆日時: 12/23(土・祝) 14:00～15:30
- ◆内容: 音楽と絵本を楽しむコンサート
- ◆演奏: アンサンブル・オビリー
- ◆会場: 2階 講堂
- ◆定員: 150人 (先着)
- ◆申込: 12/12(火) から窓口・電話・HPより



大きな活字の本

大活字本が増えました!!

大活字本の新刊が約400冊増え、合計約6,700冊。
(14ポイント)

人気の小説やエッセイなどもございます。
(22ポイント)

大活字本の
実際の文字の
大きさです。
14ポイント
22ポイント

点字図書館が移動図書館として長岡にやってきます。

見えにくくなってお困りのことはありませんか?
ぜひこの機会にお立ち寄りください。

日時: 平成29年11月19日(日) 10:00～15:00

場所: アオーレ長岡 市民交流ホールB・C

(長岡市大手通1丁目4番地10)

内容: 視覚障害者情報センター(点字図書館)利用方法のご案内、録音図書などの貸出、点字体験教室、拡大読書器・視覚障害者向け情報機器展示、日常用具注文予約、公共図書館・点訳・音訳ボランティア団体の活動をご紹介します。

問合せ先: 新潟県視覚障害者情報センター TEL 025-381-8111

平成29年10月1日

長岡市立中央図書館 編集・発行

長岡市学校町1-2-2 TEL 0258-32-0658

mail: lib@city.nagaoka.niigata.jp

